



2021年度 高1 ESD 活動 前期報告

本校は今年度より文部科学省指定 SGH(Super Global Highschool)ネットワーク参加校として、SGH アソシエイト校として取り組んできた活動を継続・発展して行っています。

【 講演会 】 前期 4 月～6 月の ESD タイムの時間に実施

1. 「ESD の視点から世界遺産を考える」：世界遺産検定協会 宮沢 光 主任研究員
ユネスコが定める世界遺産について、本校の ESD 活動の 6 領域[国際・人権・共生・環境・生命・文化]の視点から 4 回シリーズでお話をさせていただきました。初回は本校において、対面で講演をしていただき、後の 3 回はオンラインで行いました。「戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」というユネスコ憲章について今後もしっかりと学んでいきたいと思ひます。
2. 「途上国から世界に通用するブランドをつくる」：MOTHERHOUSE： 渡辺 洋紀氏
2006 年にバングラディッシュからスタートした企業。国内・海外と多くの店舗を持ち、横浜元町店の店長・渡辺さんからご自身の経験とマザーハウスについて素敵なお話を伺いました。途上国の現状を変えるのは援助でも・国際機関でもなく消費者であることを考えさせられました。
3. 「服の力プロジェクト 難民の方に服の力で笑顔を！」
GU 大野雄輝氏 伊勢佐木町店長 × UNHCR 協会 天沼 耕平氏
UNHCR（国連難民高等弁務官事務所）とファーストリテイリングが取り組む小・中・高校生が対象の学習プログラムです。世界各国の難民の方に社員の方が UNHCR と協力して回収した古着を届けます。学校から一番近い UNIQLO または GU の社員の方が来校して授業もしていただきます。本校では初の試みとして、UNHCR 協会の天沼さんと GU 店長の大野さんのお二人と一緒に授業をしていただきました。難民の方の現状と服の力がもたらす希望について知ることができました。本校でも 11 月まで古着の回収活動をしています！ご協力お願いします。



世界遺産協会 宮沢氏



MOTHERHOUSE 渡辺氏



GU 伊勢佐木町店長 大野氏



UNHCR 協会 天沼氏×GU 大野氏

【 領域別インプットレクチャー 】

7月の下旬に ESD の活動を行っている 6 領域（国際・人権・共生・文化・環境・生命）ごとにそれぞれのフィールドの活動諸団体を訪問またはオンラインで、専門家の方々の現場感満載のお話を伺いました。

○ 国際領域：WFP 国際連合世界食糧計画 瀬上 倫弘氏

飢餓のない世界を目指して**活動**する、国連の人道支援機関です。紛争や武力衝突に加え、干ばつ、洪水、地震、ハリケーンや農作物被害などの自然災害の緊急事態が発生した際には、いち早く必要とされる場所に食糧支援をしている現場のお話を伺いました。また、そのあと、グループディスカッションで私たちが取り組める食品ロスについて考えました。

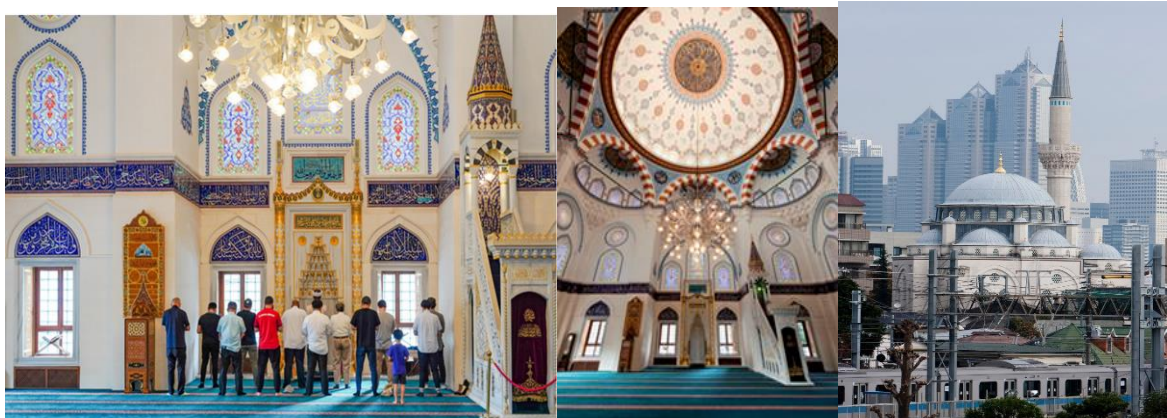


○ 人権領域：神奈川県ユニセフ協会 角本 貴子氏

7つの分野（保健、HIV/エイズ、水と衛生、栄養、教育、子どもの保護、社会へのインクルージョン）で活動内容、さらに、災害・紛争が起きた地域への緊急・人道支援、女子教育の推進を含むジェンダーの平等にも取り組みについてお話をうかがいました。特に途上国のこどもを取り巻く現状を知って、自分たちにできることを考えたいという意見が出ていました。

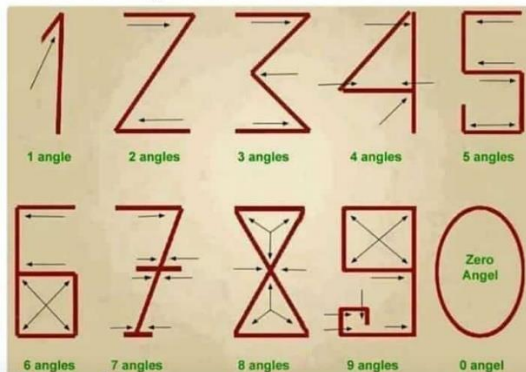


○ 共生領域：東京ジャーミー デイヤーナト トルコ文化センター 下山 茂氏



1930年に建てられたオスマン様式の壮大なモスクでトルコ文化を紹介するセンターも併設されています。代々木上原から徒歩5分のところにあり、1度に2000人も礼拝することができる日本最大級の礼拝堂でもあります。どなたでも見学もできます。日本人の信者さんでガイドをしてくださる下山さんが今年オンラインで親しみやすいイスラム文化について講演してくださいました。

Les numéros arabes du Savant musulman Al-Khwârizmî et qui sont utilisés par l'Occident aujourd'hui. Chaque numéro correspond au nombre d'angles se trouvant dans le dessin.



○ 文化領域：横浜開港資料館 青木 祐介副館長・シルク博物館

1981年、横浜に生きた人々の記録を後世に残す目的で横浜開港資料館は生まれました。2009年には横浜は開港150周年を迎えました。私たちが学校生活を送る横浜の歴史を深く知ることは、未来に生きてゆく私たちにとって大切なことです。また、今年度は秋に元町のショッピング・ストリートのみなさんとSDGsイベントと一緒にする企画もあり、元町の歴史についてもしっかりと学びました。日本史の授業ともコラボして、社会科の先生方も引率して解説をしてくださりました。



○ 生命領域：日本赤十字社神奈川支部 五井 あき氏 山田 祐一氏

日本赤十字社神奈川県支部は全国47都道府県にある日赤の支部の一つとして1887年に誕生しています。「人道」を理念に国際援助・開発協力・災害救護・安全講習会普及、ボランティア活動・国際人道法普及などを行っています。本校も青少年赤十字(JRC: Junior Red

Cross の略) のメンバーです。JRC は「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つの実践目標を掲げて、主体性を育むために「気づき」「考え」「実行する」という態度目標を掲げています。本校では ESD の生命領域の生徒たちが支部を訪問して、講演会と2階の展示室を見学させていただきました。また、希望者で8月に『青少年赤十字リーダーシップトレーニング・センター』をオンラインで受講しました。県下の JRC 登録校の高校生と一緒にオンラインで研修を2日間、指導スタッフの先生方から受けました。



日本赤十字社神奈川県支部を訪問



~~オンライン~~リーダーシップ・トレーニング・センター (オンライン) 研修の様子

○ 環境領域①：八景島シーパラダイス 安部 奏副館長 鈴木 涼太学芸員

『Blue Earth Project』という全国の女子高校生で組織する環境問題啓発団体のメンバーとしての活動と動物の問題のグループの2つに分かれて取り組んでいます。『Blue Earth Project』の活動は、例年は赤レンガ倉庫広場で行われている東京湾大感謝祭に今年度はオンライン実施のため環境啓発の動画を制作して参加します。内容は「イルカとプラスチックごみ問題」です。八景島シーパラダイスの飼育員さんたちとイルカたちの協力をいただいて、ただいま制作中です。





Blue Earth Project とは

環境問題を切り口に、女子力を生かして社会を「デザイン」という10年以上前に松蔭で生まれたプロジェクト型のキャリア教育。今では宮城・福島・東京・横浜・名古屋・沖縄の200名以上の女子高生が参加しています。環境大臣や文部科学省からの受賞や表彰を受け、2015年にはOECD（経済協力開発機構：本部パリ）や文部科学省が21世紀の教育を考え創っていく趣旨で立ち上げた「日本イノベーション教育ネットワーク」のボランタリー・クラスターとして認定されています。

○ 環境領域②：横浜市動物愛護センター 成田氏

動物問題のメンバーは横浜市の動物愛護センターを訪問しました。「人と動物が共に快適に暮らせる環境づくり」を推進する拠点で、保護収容された動物を可能な限り譲渡することに取り組んでいる施設です。犬猫の殺処分の問題に関心のある生徒たちが多く、スタッフの方から様々なお話を伺うことができました。



○ 環境領域③：横浜市繁殖センター 緒方所長

よこはま動物園（ズーラシア）の敷地内にあります。希少野生動物を飼育する動物舎と研究棟・動物病院などがあります。飼育棟では、絶滅に瀕する野生動物を保存していくために厳選された動物を繁殖させ、飼育下で継続的に維持していくことを目指しています。見学当日はマレーバク、カグー、ホオアカトキ、コンゴクジャクなどを見させていただきました。

